

書名	奈良妖怪新聞 総集編(弐)			著者名	木下 昌美 / 著		
出版社	大和政経通信社	ISBN	978-4-90923302-8	本体価格	¥926	発売	2018/4/24
内容	総集編は、妖怪文化研究者として活躍する木下昌美さんが伝承や口伝を深く取材し、執筆をしている弊社発行の電子新聞「奈良妖怪新聞」が1冊の書籍になったものです。						

書名	日本人も知らないやまとことばの美しい語源			著者名	武光誠 / 著		
出版社	河出書房新社	ISBN	978-4-309-49990-1	本体価格	¥680	発売	2018/4/17
内容	鼠は「根に住む」から「ねずみ」、海は「大水」を短縮した言葉、橋と梯子は「端」を結ぶことから……万葉の昔に日本人が生み出した素朴な言葉、その由来を紐解けば彼らの心や暮らしぶりまでが見えてくる！						

書名	「名著」から読み解く日本社会史 古代から現代まで			著者名	夏目琢史 / 著		
出版社	ミネルヴァ書房	ISBN	978-4-623-08128-8	本体価格	¥3,500	発売	2018/5/10
内容	歴史学研究的軌跡から、日本社会を思索する。古代から現代までの14冊の名著を紹介、現代社会に生きる「知」を総覧する。						

書名	奈良町あやかし万葉茶房(2) 【双葉文庫】			著者名	遠藤 遼 / 著		
出版社	双葉社	ISBN	978-4-575-52114-6	本体価格	¥602	発売	2018/5/11
内容	人間だけでなくあやかしたちも訪れる喫茶店「万葉茶房」で働き始めた高校生の草壁彰良は、奈良での生活にも慣れてきていた。夏休みが終わろうかという8月の終わり、彰良がいつものようにあやかし相手に万葉集の歌を披露していると、観光客風の男が喫茶店を訪れる。津田と名乗る男はあやかしの名を口にすると、無言のプレッシャーをかけて立ち去った。不穏な空気を感じつつ、彰良は2学期を迎えることになった——奈良の喫茶店を舞台に、あやかしと人間たちの交流を描いたハートフルストーリー第2弾。						

書名	カラー版 日本の神社100選			著者名	日本の神社研究会 / 著		
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-8431-0	本体価格	¥1,000	発売	2018/5/11
内容	神社は日本に約8万社あるといわれていますが、その創建が古代にまで遡る歴史のある神社はごくわずか。本書では、そんな歴史のある神社を100社選定。最古の神社といわれる奈良県の大社神社から始まる、日本人なら訪れたい各地の神社を200点以上の写真を使ってオールカラーで詳しく解説します。神社を通して古代からの日本を感じ、自然と各地に足を運びたくなる一冊です。						

書名	古代の神社と神職 神をまつる人びと			著者名	加瀬直弥 / 著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05867-4	本体価格	¥1,700	発売	2018/5/18
内容	古代の人々は、自然災害などの脅威の背後に神の存在を見ていた。伊勢神宮・大神(おおみわ)神社・住吉大社・出雲大社など、各地の神社の立地や社殿からその役割を解明。また平安前期までのまつりに注目し、神へのことばや儀式次第だけでなく、神職の持つ「笏(しゃく)」や古代の女性神職にも言及。神社のあり方やまつりに関わる神主・禰宜(ねぎ)・祝(はふり)ら神職の実態に迫る。						

書名	御朱印でめぐる関西の百寺 西国三十三所と古寺			著者名	地球の歩き方編集室 / 編		
出版社	ダイヤモンド社	ISBN	978-4-478-82178-7	本体価格	¥1,500	発売	2018/5/21
内容	伽藍や仏像を鑑賞しながら、季節の花やおいしい料理を楽しむお寺めぐり。ご住職に御朱印を頂きながら、お寺の由来や歴史にまつわるこぼれ話が聞けたり、ありがたいお話をうかがうこともできます。西国三十三所を中心に、御朱印の読み解き方や歴史、お寺の名物やGOODSなども紹介。関西の名刹の旅に誘う一冊です！						

書名	平城京			著者名	安部 龍太郎 / 著		
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-105849-7	本体価格	¥1,800	発売	2018/5/31
内容	約10兆円のプロジェク！？ 3年で日本史上最大の引っ越しを完遂せよ！ 兄の命によって、平城京の造営に関わる事になった船人。しかし、遷都推進派と反対派の対立が激化し、造営予定地の立ち退きを巡り、死者まで出てしまう。直木賞作家が描く、新都建造スペクタクルミステリ。						